

ハナミズキ

つい先日のことです。庭（といっても猫の額ほどにすぎませんが）に出ている妻が、突然「大変だ！」と大きな声を上げました。私は驚いてどうかしたのかと聞きますと、「ハナミズキに花が咲いている」ということでした。

ハナミズキに花が咲くのは当たり前とお思いでしょうが、我が家のハナミズキは植えてから8年近くになるのに、これまで花を付けたことがないのです。

妻は、「我が家のハナミズキは、花見ず樹ね」と嘆いていましたので、こういう事もあるのかと大喜びです。どれどれと、私も庭に出て眺めてみると、確かに青々とした葉っぱの間に可憐な白い花が8つほど咲いているではありませんか。

日本のハナミズキは、約100年前、当時東京市長だった尾崎行雄氏が平和の使者として「桜」をワシントンに送ったところ、その返礼として日本にやってきたものです。

日米友好の絆を深めたいという尾崎東京市長の思いは、その後太平洋戦争によって一旦は引き裂かれてしまいましたが、今では、ワシントンの桜と並んで日米親善の架け橋となっています。

ハナミズキといえば、一青窈さんの「ハナミズキ」を思い浮かべる人も多いでしょう。この歌は、アメリカのあの忌まわしい9・11の事件後、平和への思いを綴って作られた曲だそうです。

戦争の世紀といわれた20世紀から希望の21世紀へとバトンタッチされたにもかかわらず、今以て、地球上の様々な場所で果てなき戦いが続いています。

そこでは、幼い子どもたちを含め、沢山の人の血と涙が流されています。

薄紅色の可愛い君のね

果てない夢が ちゃんと終わりますように

君と好きな人が 百年続きますように

一青窈さんは、「悪夢ともいえる現実が終わりを告げるように」との思いをハナミズキに仮託して歌にしました。

アメリカは、9・11の報復として、ビンラディンを殺害しました。それは、アメリカの怒りの深さともいえるでしょう。しかし、多くの人々は「報復の繰り返しでは、平和は来ない」こともまた、理解しているのではないかと思っています。

人間には、報復が報復をうむという連鎖を断ち切る知恵と忍耐力は無いのでしょうか。私は、そうは思いたくありません。一青窈さんは、

僕の我慢が いつか実を結び
果てない波が ちゃんと止まりますように
君と好きな人が 百年続きますように

と歌っていますが、それは彼女だけの願いではありません。

我が家の庭では、植えてから8年目にして初めてハナミズキが咲きました。秋には実を付けてくれるでしょうか？（塾頭 吉田 洋一）